



RESOLUTION No. 5) COMMON GOOD – COMMON WEALTH FRAMEWORK

第5号決議) 「公益 公共の福祉」の枠組み

第29回国際公務労連 (PSI) 世界大会
2012年11月27日－30日、南アフリカ・ダーバン

所得不平等の拡大を、今日世界で多くの国が直面する最大の課題であると**認識し**、

大部分の国で、最富裕層と最貧層の所得格差が過去30年で劇的に増大し、それが国家経済の不安定性を高め、国家の社会機構に害をもたらし、市民の生活水準を低下させてきたことを**懸念し**、

拡大する世界的な所得不平等は、4つの世界現象によってさらに悪化してきたことを**断言する**。

- 多くの国で税の公平性がますます失われ、結果として、企業と富裕層のための減税による財政支出が拡大し、公共サービスに対する支出が減少した。
- 世界各地での公共サービス・プログラムに対する終わりなき攻撃が、世界の弱者をますます自力で生活せざるをえない状況に追いやっている。
- 企業の権利に与するために労働権が容赦ない攻撃を受け、それにより、大部分の国では組合密度が低下し、労働組合は働く人々の所得の平等拡大を達成する能力をそがれた。
- 規制緩和、自由貿易、民営化、企業減税のための財政支出といった不干渉主義を支持するために、対策として雇用創出を約束することもなく、積極的な産業戦略が廃止された。

公益のための国の公共の福祉の表明として、公共サービスの価値を**理解する**。

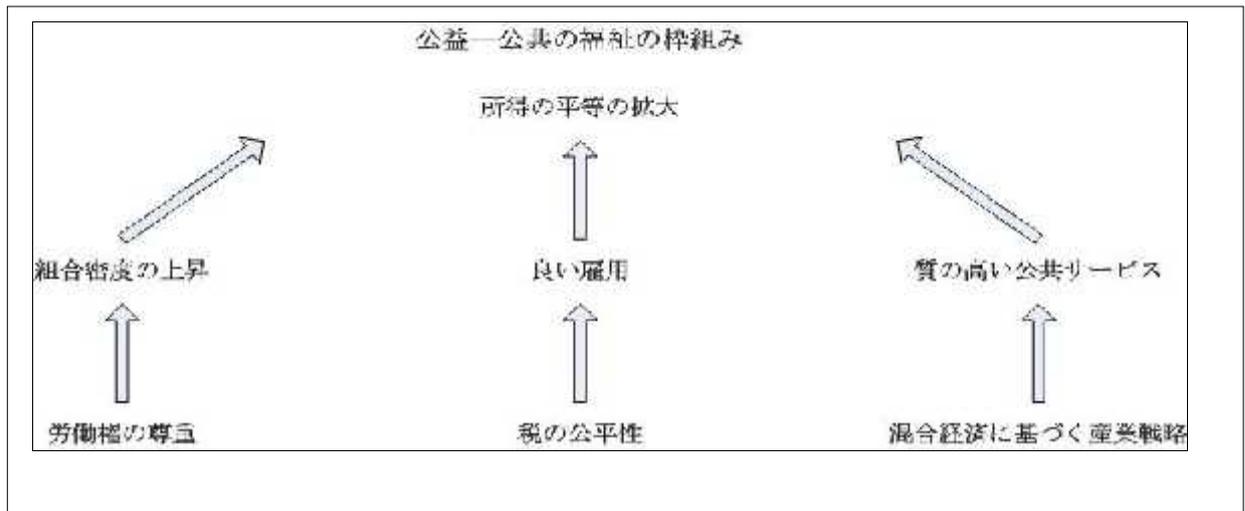
政府が提供する公共サービスに、公平性に基づく進歩的な税制を通じて十分な資金を拠出しなければならないことを**再確認する**。

組合組織率が高ければ所得の平等も拡大することを明確に示すILOや世銀ほか国際組織の経験的証拠が増えていることに**留意する**。

持続可能な経済成長、グリーン技術、公正な富の分配、社会正義に基づく混合経済を奨励する国による産業戦略の展開を**支援する**。

国際公務労連 (PSI) に対し、以下に焦点を当てた「公益 公共の福祉」の枠組みの採択を**呼びかける**。

- 全市民のニーズを満たし、平等性と一体性を高める質の高い公共サービス
- 富の分配に対する進歩的なアプローチに基づく公正な税制
- 持続可能な経済成長、グリーン技術、公正な富の分配、社会正義に基づく混合経済を奨励する産業戦略
- 労働権は人権であり、より高い水準の経済的平等性と社会的権利を全市民に達成する重要な手段であることを認識すること



世界各国における所得不平等を是正する賢明な経済政策アプローチとして、この枠組みを推進することをPSIに求める。

さらに、この枠組みを「質の高い公共サービス
今こそアクション！」ならびに、国家政府と国際機関との対応の中で推進することをPSIに求める。

行動プログラムおよび規約を含む大会決議[Congress resolutions](#)を参照のこと